

審査報告

令和7年度守山区農産物品評会の審査結果を報告します。

今年は3月下旬から気温は例年よりも高くなり、4月下旬まで気温の高い状態が続きました。5月に平年並みになったものの、6月中旬から8月下旬まで平均気温は高く推移しました。5月、6月は降雨の日が多く、病虫害の発生が多くなるなど、作業を計画どおりに行うことが難しかったことと思います。

梅雨明けは7月4日と平年より早く、その後は記録的な猛暑続きとなり、真夏日の日数の記録更新をするほど暑く、昨年以上に暑い夏となりました。また、夏から秋にかけての継続的な高温は様々な農作物へ影響を及ぼしてきました。

このようなめまぐるしい栽培環境の中、夏から秋にかけて果樹では日焼け果が発生するなどの被害があり、露地野菜では秋冬野菜の育苗管理に苦勞をして、播種や定植作業、生育の遅れなどに加え、柿では落葉病また、病虫害に関しては、カメムシ類、チョウ目の発生が多く、10月上旬まで暑い日が続き、引き続き害虫発生が多く、防除など栽培管理に大変、苦慮した年だったと思います。

農家の皆さんには農作物の栽培管理に格別ご苦勞されたことと思いますが、こうした中で、会場には優れた農産物が多数出品され、日頃の丹精のほどがうかがえました。

審査につきましては、外観の品質比較を中心に、市場性や消費者ニーズも加味して、JA なごや地域振興部、愛知県尾張農林水産事務所農業改良普及課、東谷山フルーツパーク職員ならびに名古屋市緑政土木局都市農業課が担当させていただきました。

出品されたものはいずれもすばらしく、特に上位入選された農産物については、甲乙つけ難いものでした。

以下、審査にあたって気づいた点を申し上げます。

【穀類・豆類】

穀類、豆類に関しては玄米、黒豆、落花生の3品目が出品されていました。粒状、形質を中心に審査いたしました。猛暑により栽培が難しい中、全体的に良質で、特選・入選した穀類・豆類は特に粒状、形質が優れていました。

【葉菜類】

〈白菜・キャベツ〉

出品されたものはいずれも玉のしまりが良く、重量感のあるものでした。一方でアブラムシなどの害虫の多い年でもあり、出品物にも被害のあるものが見受けられました。特選や入選に選んだものは、その中でも病虫害の被害が少なく、きれいで重量のあるものでした。

白菜では、葉の内側にアブラムシが寄生した株が見受けられましたので、適切な防除に努めていただきたいと思います。

〈ほうれん草・ブロッコリー・水菜〉

特選、入選に選んだものは、病虫害の被害がなく、洗いもしっかりされ、葉が大きく濃い緑色のものでした。今年も高温だったため、害虫による食害が散見されましたので、防除に努めていただきたいと思います。

【ねぎ類】

特選や入選に選んだものは害虫の被害が少なく、全体が太く、葉身の緑が深く葉鞘にツヤがあり揃いの良いものでした。また葉身部にはアザミウマ類の害虫被害が目立つものもありましたので注意してください。

【根菜類】

〈大根〉

気候が一定しない中、栽培には苦労されたと思います。そういった中でも大根は立派なものが多く見応えがありました。紅くるり大根は小ぶりのものが目立ちましたが、色合いや形の良いものが多く、鮮やかに映りました。

〈カブ〉

暑さに弱いカブにおいては、気候が一定しない中、栽培に苦労をかけられたことと思われます。そのような天候の中で育ったカブの出品物は形が良く、サイズも大きく、つや色などの良いものが多く出品され、優劣つけ難いものでした。

〈人参〉

気候が一定しない中、生育には大変厳しい環境となりご苦労されたと思います。その中でもツヤ、色、大きさが充実したものが多く出品され、優劣つけ難いものでした。

〈いも類〉

酷暑による苗の生育不良が起きやすかった環境下において、一定以上の大きさ、重量になるまで生育することができており、皆様の創意工夫や苦勞の一端を垣間見ることができたように感じます。特にさつまいもについては色・ツヤ・重さが大変素晴らしく、また里芋についても大きさが優れており、食欲をそそるものでした。

【果菜類】

ウリ類、特に冬瓜の出品数が多く、入選したものは色、形ともに良く、またブルームも吹いており、良い出来栄でした。ピーマンでは、果実のハリがあり、見た目にもみずみずしさが感じられるものでした。全体を通して、消費者ニーズに合わせたサイズ、形状を意識されているものが多かったです。

【果実類】

柑橘類をはじめ、柿、キウイなど様々な果実類の出品がありました。市場にあまり出回らない果実なども出品されており、消費者ニーズに寄り添う生産者の方の熱意を感じました。いずれの作品も出来栄がよく、大きなものは大きく、小ぶりのものも実がしっかりと充実しており、品質を高めるための取組みに尽力されたことが伝わってきました。今後も消費者のニーズに合わせた品種などの生産に取り組んでいただき、本市の農業の活性化に繋がることを期待しております。

【手芸品】

どの作品からも日頃の丁寧な取り組みと創意工夫が感じられました。賞を選ぶことは大変でしたが、温かみと発想の豊かさを感じられる物を賞に選びました。今後も制作の時間を楽しみながら心温まる作品を生み出していただければと思います。

以上、審査員一同、慎重・公正を旨に審査いたしました結果、
252点の出品から、特選 17点、入選 49点を選出したことをご報告いたします。

令和7年12月3日

審査長 名古屋市緑政土木局 農政部

担当課長（農業振興） 佐々木 芳仁